

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和8年5月27日
袋井市長定例記者会見資料
月見の里学遊館

「月見の紙マルシェ ー本と文具ー」を初開催 ～心にとどく、『ZINE』や本・文具に出会うマルシェ～

- 『ZINE(ジン)』とは、個人や少人数のグループが自由なテーマで制作し、自主出版する小冊子のことで、テーマや形式に決まりはなく、特定の出版社や編集者を通さないため、自分たちのアイデアや表現をそのまま反映できます。
- ZINEという言葉は、「マガジン(magazine)」の語尾を取った言葉で、ファンジン(fanzine=ファンが作る雑誌)の略語として使われ始めました。

◇近年、大型書店ではなく、店主こだわりの小規模な書店(独立系書店)や文具店が静かなブームとなりつつある中、月見の里学遊館では「短歌」や「大人の絵本のよみきかせ」などのワークショップを開催し人気を博しています。一方で、商業出版と違って特定の出版社や編集者を通さない『ZINE』や紙の作品に触れる機会は、地方都市では限られています。

◇こうした状況の中、より多くの方の「知的好奇心を刺激する」イベントとして、『ZINE』やおすすめの本・文具の販売と、読書や文字・紙を使ったアートワークショップやミニギャラリーを併設し、“心にとどく本や文具に出会う機会”として「月見の紙マルシェ」を企画しました。

◇同時に、出店して頂く皆様とのネットワークや情報交換など連携させていただき、月見の里学遊館が単なる場所としての役割ではなく、文化やアート、ものづくりに関心を寄せる機会の創出を目指します。

【概要】

- 開催日時：2026年(令和8年)6月20日(土)・21日(日) 午前10時～午後3時
- 開催場所：月見の里学遊館
文字・文/ものづくりのワークショップルーム、市民サロン

3. 内容：

- 文字・文/ものづくりのワークショップルームに書店や文具店約20店舗のブースを設置。ワークショップスペースやミニギャラリースペースも設置。
- 市民サロン/カフェコーナーでは、珈琲やお茶、スイーツなどの店舗を展開。購入していただいた本を読みながら、ゆっくりとした中でお茶やスイーツを愉しんでいただけます。
- 本・文具を購入された方に、月見の里学遊館オリジナルしおりをプレゼント(先着順・数量限定)。



- 対象：どなたでも(入場無料、申込不要) ※ワークショップ有料・要申込。当日空きがあれば参加可。

【お問い合わせ先】

袋井市 月見の里学遊館 事務局(担当：櫻井・鈴木) 9時～17時・木曜日休館
電話：0538-49-3400 FAX：0538-49-3405 メール：info@tsukiminosato.jp